

助成受給団体名	ふりがな した 増 田 地 区 防 犯 協 会 下増田地区防犯協会
事業の名称	美田園第一仮設住宅防犯カメラ設置事業
実施期間	平成 27年 8月 1日 ~ 同 28年 7月 01日
実施した事業の内容 東日本大震災からの復興を促進し、安全と安心に暮らす社会を実現するため、被災者が居住する美田園第一仮設住宅内にも、第5回東日本大震災特別助成金を活用し、防犯カメラ2台を設置した。防犯カメラを設置した美田園第一仮設住宅内には、平成27年8月末現在で199人が入居しているものの、防災集団移転事業や災害公営住宅整備事業の進展に伴い、今後入居者数が減少の一途を辿ることが予想されている。この中で美田園第一仮設住宅では、敷地に設けられた募金所用からテレビがなくなったり敷地に駐輪中の自転車から盗難被害に遭う等の空盗事件の発生があるため、防犯カメラを設置し、敷地内9区画の防犯カメラ1台を設置し対策を講じた。このような状況を踏まえ犯罪被害の未然防止を図るため、仮設住宅敷地内に防犯カメラを設置したものである。	
事業の成果 現在、宮城県内では、防災集団移転事業や災害公営住宅整備事業等の進展に伴い、被災地に新たな街が形成され、住民参加による、コミュニティ活動等の活性化が見られる。反面、今までの被災者生活は、仮設住宅のあり方について継続した対応が求められている。仮設住宅敷地内に防犯カメラ2台を設置したことにより、各種犯罪被害の未然防止が図られることは、より地域の安全は自分達で守るという防犯意識の高揚、地域住民の絆が強固になることと推認される。	
今後の課題 美田園第一仮設住宅の入居者がいなくなる場合、防犯カメラ2台を他の場所に設置する必要性を検討し実行される。	

